

卓 話

平成16年2月3日

絵を通しての環境について

洋画家 青木 年広様

無限の宇宙にたった一つの「水の星」。数十億年といわれる地球誕生以来、今、我々現代人が横着に大切な自然を平気で壊しています。いかに子どもや孫達に良い地球を残していつてやるか。

「中ロータリー」の皆さんは、“たずさえの森事業”を支えられ、板取村、洞戸村等、交流を計られていることは、大変に素晴らしいことです。

水の星、水の豊かな日本、その中でも全国に誇れる長良川水系を持つ岐阜は、山国です。豊かな森の山の自然は、ミネラル豊富な川を造り、やがて豊かな海となります。多くの生命全ては水無しでは生きられません。

私はそんな思いで、美しい川岸にキャンパスを立てて、流れ、空気、音までも取り込めたらと、自然保護の気持ちを込め、描いています。そんな中で描いた作品を発表していく中で、多くの人々との感動の出会いがあります。

人はいくら大金を稼いでも、死んで行く時はハダカ！です。お金はほどほどにして、良い自然、良い芸術で「心豊かに」生きてほしいものです。絵の世界は・・・、いい絵の値段はどこから決まるの・・・、等々、楽しく話させていただきました。この日の出会いに感謝します。ありがとうございました。



青木年広「白馬」



青木年広 水明「会う」